



Domaine d'Aussieres

野性的で自然のままのこの地には活力と魅力溢れ、大地は類まれなるポテンシャルを持っている。

1999年以来、ドメヌ バロン ド ロートシルト（ラフィット）が所有するワイナリーです。ドメヌ ド オーシエールは、類い稀な地理的条件とワイン生産環境、およびその歴史から、ナルボンヌ地区で最も美しく古い歴史を誇るワイナリーに数えられています。

オーシエールのワイン造りの歴史はローマ時代にまで遡り、1211年、フォンフロワ修道院に買い取られます。その後、フランス革命までの間、修道院の自給自足を賄う「シトー派の農場」としての役割を担いました。

オーシエールのブドウ畑の三分の二はアペラシオン コルピエールに属し、現在167ヘクタールの畑がナルボンヌ市の南、フォンフロワ山の支脈に広がっています。丘陵地の高台においては表層部の土壌は小石を多く含み浅く、平野部はより砂質で深さを持ちます。シラー、ムールヴェードル、グルナッシュ、カリニャン、サンソーが栽培されており、残りの三分の一はヴァン ド ペイドック（シャルドネ、メルロ、カベルネ ソーヴィニヨン、カベルネ フラン、プティ ヴェルド）としての生産です。

